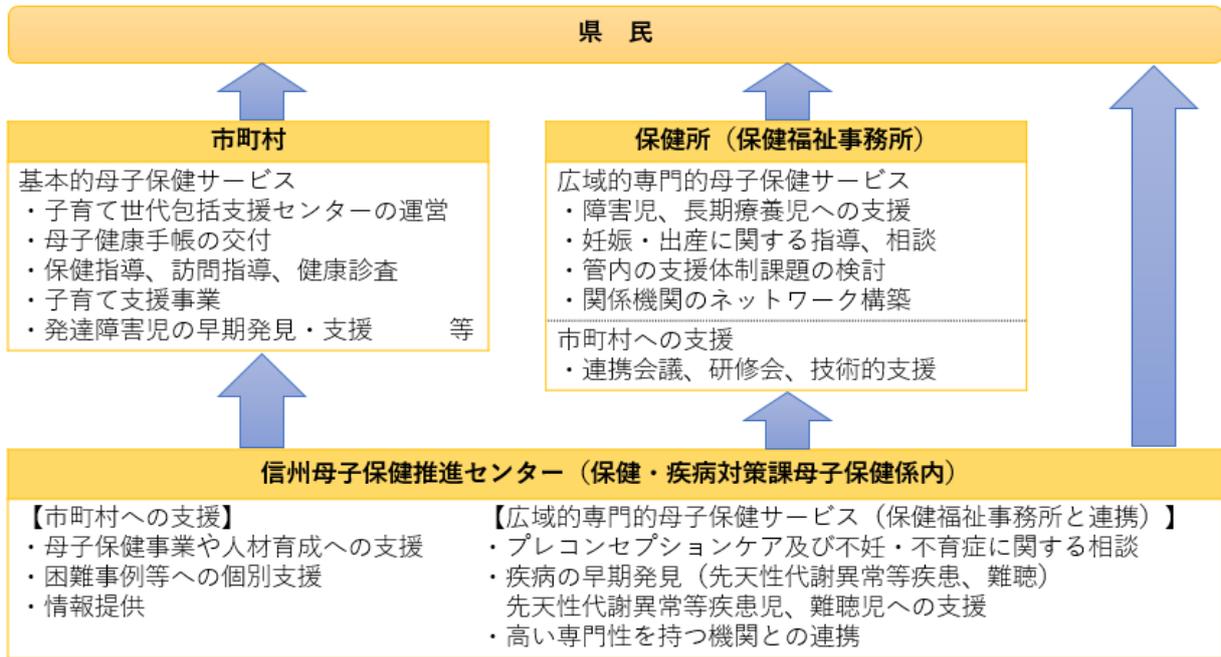
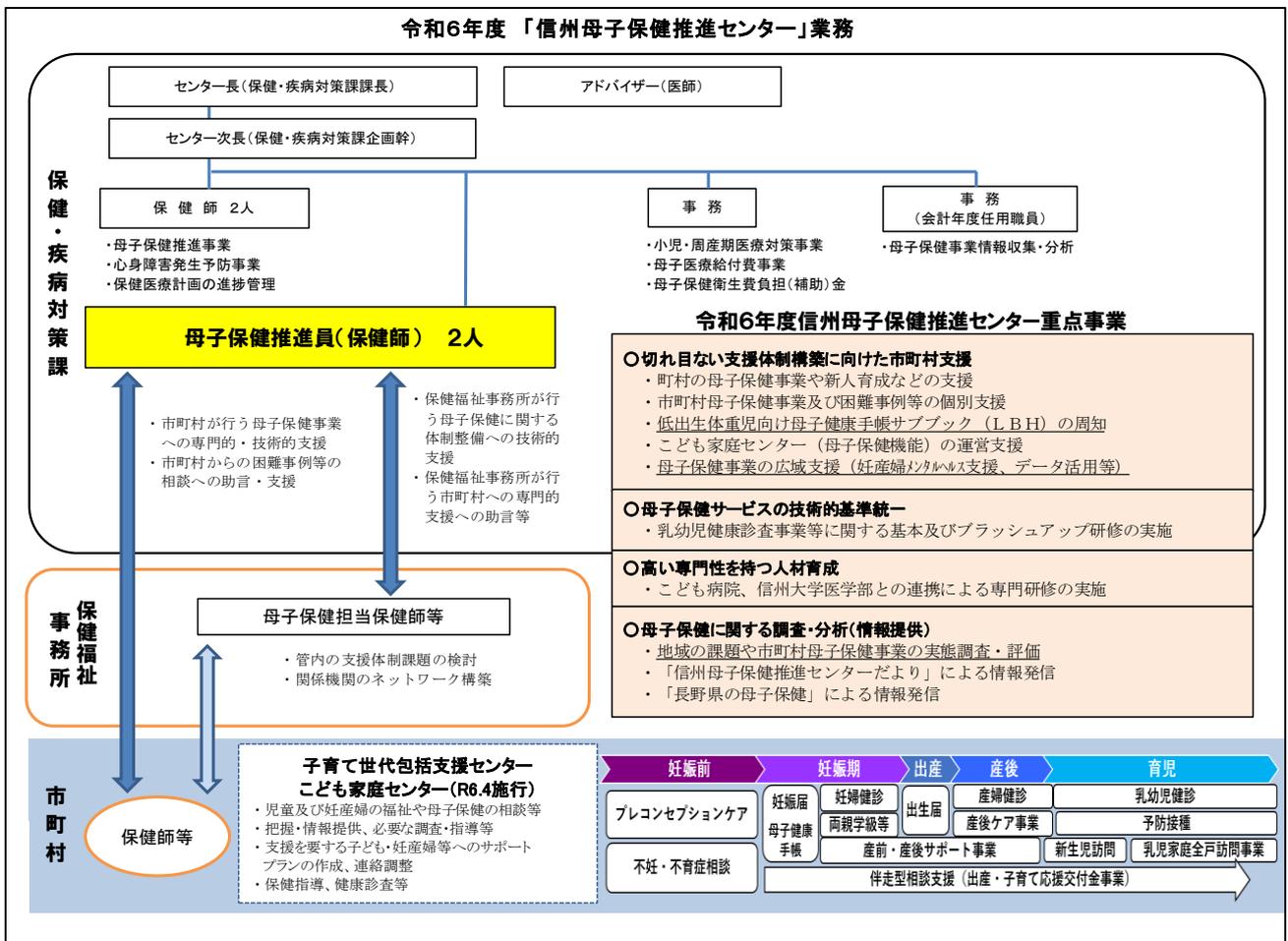


III 令和6年度長野県の母子保健対策事業（抜粋）

1 信州母子保健推進センターの役割



2 信州母子保健推進センターの体制



3 信州母子保健推進センター事業

(1) 長野県母子保健推進連絡会

方 法 WEB 開催

出席者 12 名（令和 7 年 2 月開催）

内 容 ①信州母子保健推進センターの取り組みについて
②市町村における母子保健事業の取組について

(2) 母子保健推進会議の開催

10 保健福祉事務所が地域の課題・状況に合わせた内容で開催

(単位：回)

開催回数	内 訳 (延 数)						主な内容
	思春期	周産期	小児	育児	慢性疾患 在宅療養児	その他	
38	2	14	24	4	0	5	○地域関係機関の情報共有・情報交換 産後ケア事業、児童虐待、妊婦への支援、未熟児支援、乳幼児健診、こども家庭センター、プレコンセプションケア、両親学級 等 ○事例検討 ○研修会 児童思春期のメンタルヘルス、聴覚検査及び支援、股関節脱臼、子どもの低身長、発達障がい、虐待予防、記録の書き方 等

(疾病・感染症対策課調べ)

(3) 市町村等母子担当者会議の開催

(単位：人)

開催日	参加者数	主な内容
令和 6 年 5 月 31 日 オンライン	148	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 6 年度母子保健対策事業について ・ 信州母子保健推進センター事業について ・ 母子保健医療対策総合支援事業等について ・ 母子保健衛生費の国庫補助等について ・ 不妊・不育症治療支援事業について ・ 「ながのリトルベビーハンドブック たいせつなきみ」について等

(4) 人材育成研修の開催

センター主催による研修会の企画・開催を行いました。

【母子保健技術研修会】

(単位：人)

研修名	開催日 開催方法	参加 者数	主な内容
I 乳幼児健診の 基本のきほん	令和6年 6月17日 ハイブリット 集合 オンライン	109 46 63	<ul style="list-style-type: none"> ・講義：乳幼児健康診査の基本のきほん 講師：諏訪保健福祉事務所 所長 三沢 あき子 氏 (信州母子保健推進センターアドバイザー) ・実技：乳児期の運動発達の診かた 講師：信州母子保健推進センター 母子保健推進員
II 母子保健事業 における乳幼 児健康診査の 精度管理と評 価	令和6年 10月22日 集合	44	<ul style="list-style-type: none"> ・講義：母子保健事業における乳幼児健康診査の精度管 理と評価 講師：諏訪保健福祉事務所 所長 三沢 あき子 氏 ・話題提供：母子保健事業実施状況調査及び健康診査実施 結果の報告 講師：信州母子保健推進センター 母子保健推進員 ・グループワーク

【母子保健専門研修会】

研修名	開催日 開催方法	参加 者数	主な内容
I 周産期メンタル ヘルス支援体制 の構築を考える ー長野県の周産 期看護を繋ぐた めにー (長野県看護協会 と共催)	令和6年 7月6日 集合	118	<ul style="list-style-type: none"> ・講義：周産期メンタルヘルスにおける最重症症例から 考える多職種支援 講師：信州大学医学部周産期のこころの医学講座 講師 村上 寛 氏 ・講義：母子保健の現場で相手の気持ちに寄り添うため のスキル 講師：信州大学医学部保健学科 教授 中込 さと子 氏 ・シンポジウム フロアディスカッション シンポジスト：各看護職の立場から ・グループディスカッション

研修名	開催日 開催方法	参加 者数	主な内容
Ⅱ 災害時の母子 保健活動	令和6年 11月26日 オンライン	108	<ul style="list-style-type: none"> ・講義：災害時の母子保健活動（平時にできる備え・災害時に行う母子保健活動） 講師：熊本県人吉市役所健康福祉部保健センター 次長 上薨 眞由美 氏 ・講義：災害時の防災対策の基本 講師：長野保健福祉事務所 所長 塚田 昌大 氏
Ⅲ 乳幼児期から の生活習慣病 対策 (長野県立こ ども病院と共 催)	令和7年 1月17日 オンライン	221	<ul style="list-style-type: none"> ・講義：幼児期から始める生活習慣病対策 講師：長野県立こども病院 内分泌代謝科部長兼生 命科学研究センター 長 長崎 啓祐 氏 ・講義：生活習慣病予防のための乳幼児期の栄養指導 のポイント 講師：清泉女学院短期大学非常勤講師 (管理栄養士) 西沢 由美 氏

(5) 母子保健推進員の配置・活動実績

ア 配置人数及び場所

2名 配置場所 保健・疾病対策課（佐久・上田・長野・北信担当）
（諏訪・伊那・飯田・木曾・松本・大町担当）

イ 活動実績

項目	主な取組内容及び実績
市町村への助言・ 技術支援・相談対応	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村事業、困難事例に対する助言 事業支援 70市町村 延180回 乳幼児健診、産後ケア、妊産婦のメンタルヘルス等 困難事例への支援 4市町村 延4回
保健福祉事務所が行う 母子保健支援活動への 協力	<ul style="list-style-type: none"> ・会議等（母子保健推進会議を含む） 10保健所 39回 ・事業、困難事例に対する助言 1保健所 1回

(疾病・感染症対策課調べ)

(6) 産後のメンタルヘルスに関する支援

平成30年10月1日から市長会・町村会と県医師会と国保連の連携による県内統一の請求支払いシステムによる産婦健康診査事業が開始された。それにより、産婦健診は77市町村実施。

ア 産後ケア事業実施状況

77 市町村実施 サービス内容内訳

サービス内容	市町村数			
	計	市	町	村
宿 泊	70	19	20	31
通 所	66	18	21	27
訪 問	47	13	17	17

(令和6年4月1日現在)
(こども・家庭課調べ)

イ 保健福祉事務所において圏域の産科・精神科医療機関、市町村等による連携体制を推進

(7) こども家庭センター設置・運営等に関する支援

ア 設置状況

	市町村数			
	計	市	町	村
設置済み	33	16	7	10

(令和6年4月1日現在)
(こども・家庭課調べ)

設置・運営の支援

- ・市町村等へ個別支援 なし
- ・改正児童福祉法(令和6年4月施行)により、こども家庭センター設置することが、市町村の努力義務として課されたことから、設置に向けた取り組みを推進

(8) 新生児聴覚検査の円滑な実施に向けた支援

新生児聴覚検査事業については、平成18年度をもって国庫補助が廃止され、平成19年度の地方財政措置において、「少子化対策に関する地方単独措置」として市町村に対して地方交付税措置がされている。令和4年度以降、少子化対策から保健衛生費、令和6年度からは「こども子育て費」における算定に変更となった。

市町村での新生児聴覚検査公費負担導入に向けた状況把握・情報提供と合わせ、支払事務に関する基盤整備を関係団体で行った。基盤整備により、令和5年度より長野県国民健康保険団体連合会が取りまとめて検査費用の請求事務を行う「長野県新生児聴覚検査料収納支払事務」が開始されることとなった。

ア 公費負担実施状況

実施年度	実施市町村数			
	計	市	町	村
令和元年度	21	1	8	12
令和2年度	25	1	11	13
令和3年度	28	1	11	16
令和4年度	32	2	13	17
令和5年度	72	16	22	34
令和6年度	75	18	23	34

(疾病・感染症対策課調べ)

イ 関係団体

長野県医師会、長野県助産師会、長野県市長会、長野県町村会、
長野県国民健康保険団体連合会

(9) 「信州母子保健推進センターだより」の発行

母子保健に関する情報を掲載し、市町村等に情報提供を行った。多くの人に見てもらえるようメールによる配信を行うとともに、長野県のホームページに掲載し、随時閲覧できるようにした。

ア 配信先：市町村、保健福祉事務所、長野県精神保健福祉センター
長野県看護協会、長野県助産師会

イ 内容

No	発行	内 容
1	令和6年4月	産後ケア事業アンケート結果、母子保健医療対策総合支援事業
2	令和6年5月	妊娠出産に関する情報提供（出生前検査など）、
3	令和6年6月	母子保健技術研修会Ⅰ「乳幼児健診の基本のきほん」の報告、厚生労働省ウェブサイト「出産なび」情報提供
4	令和6年7月	こどもの事故防止と相談窓口、母子保健事業等に関する情報提供
5	令和6年8月	母子保健専門研修会Ⅰ「周産期メンタルヘルス支援体制の構築を考える」の報告、大雨による災害の被災者に係る妊婦健診等
6	令和6年9月	新生児マスキング実証事業、令和7年度母子保健対策関係予算概算要求の概要
7	令和6年11月	母子保健技術研修会Ⅱ「母子保健事業における乳幼児健診の精度管理と評価」の報告、先天性股関節脱臼の予防指導
8	令和6年12月	伝染性紅斑、母子保健事業の評価「母子保健事業実施状況調査」と「乳幼児健康診査（1歳6か月児健康診査）アンケート調査結果」について
9	令和7年1月	長野県の母子保健、母子保健専門研修会Ⅱ「災害時の母子保健」の報告
10	令和7年2月	母子保健専門研修会Ⅲ「乳幼児期からの生活習慣病対策」の報告、「こども家庭センターに係る情報交換会」の報告
11	令和7年3月	妊産婦メンタルヘルス支援体制ネットワーク事業、3歳児健診における視覚検査実施状況調査の結果

*資料編 23 ページ以降に掲載

(10) 「令和5年度 長野県の母子保健」の作成・配布

ア 発行日 令和6年12月

イ 配布先 市町村、保健福祉事務所、産科医療機関（病院、診療所、助産所）
長野県医師会、長野県歯科医師会、長野県薬剤師会、長野県看護協会、
長野県助産師会、長野県栄養士会、長野県歯科衛生士会

(11) 低出生体重児向け母子健康手帳サブブックの周知

小さく生まれた子どもとその家族のための母子健康手帳のサブブックとして作成。子育ての

記録ができる冊子のほか、子育てに必要な情報や先輩パパママからの応援メッセージを長野県ホームページにて閲覧可能。

ア ながのリトルベビーハンドブック「たいせつなきみ」(冊子)

イ ながのリトルベビーハンドブック「たいせつなきみ」プラス (ホームページ)



4 不妊・不育症治療支援に係る事業

(1) 妊活検診(不妊検査)費用助成事業(県単事業)

○ 令和4年度から妊娠を希望する夫婦に対し、健康状態を確認し、将来の妊娠のための健康管理を促す(プレコンセプションケア)とともに、早期治療を支援する「妊活検診(不妊検査)費用助成事業」を実施

○ 令和6年度事業実績 484件 助成額 11,402千円

(2) 不妊治療(先進医療)費用助成事業(県単事業)

○ 令和4年度から不妊治療を受けている夫婦に対し、経済的負担を軽減するため、「不妊治療(先進医療)費用助成事業」を実施

○ 令和6年度事業実績 790件 助成額 17,743千円

(3) 長野県不育症治療支援事業(県単事業)

○ 平成27年度から不育症治療費等の一部を助成する「長野県不育症治療支援事業」を実施

○ 令和6年度事業実績 13件 助成額 490千円

(4) 不育症検査費用助成事業

○ 令和3年度から先進医療として実施される検査を対象に助成が開始。

○ 令和6年度事業実績 0件

対象となる検査	対象期間	備考
流産検体を用いた染色体検査	令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	令和4年度より保険適用
流産検体を用いた遺伝子検査(次世代シーケンサーを用いた流産産絨毛・胎児組織染色体検査)	令和4年12月1日～	*参照

*「流産検体を用いた染色体検査」が令和4年4月1日より保険適用となったため、令和4年4月1日から11月30日の間は本事業の助成対象となる検査は該当なしであった。

(5) 不妊・不育専門相談センター事業

○ 長野県看護協会への委託事業。平成13年度に開設。令和4年度から土曜日相談を毎週に拡充。

○ 令和6年度の相談延数は294件(前年370件)、相談内容は「不妊の検査・治療」、「費用や助成制度に関すること」が多くを占めている。

不妊・不育専門相談センターの相談実績

	相談者 延 数	性別		相談方法		
		男性	女性	電話	面接	Eメール
件数 (件)	294	62	232	156	33	105
割合 (%)	100.0	21.1	78.9	53.0	11.2	35.8

(疾病・感染症対策課調べ)

主な相談内容 (重複あり)

	内 容	不妊 (件)	不育症 (件)	割合 (%)
1	不妊・不育症の原因について	36	4	9.8
2	不妊・不育症の検査・治療について	91	4	23.3
3	医療機関の情報	47	3	12.2
4	検査・治療への不安	50	1	12.5
5	主治医や医療機関への不満	11	0	2.7
6	世間の偏見や無理解への不満	1	0	0.2
7	家族に関すること	10	0	2.5
8	費用や助成制度に関すること	58	2	14.7
9	出産・育児に関すること	14	0	3.5
10	治療と仕事の両立	7	0	1.7
11	その他	68	1	16.9
	計	393	15	100.0

(疾病・感染症対策課調べ)

(6) 情報発信事業 (長野県妊活支援サイト「妊活ながの」)

- 妊活するカップル、不妊・不育治療に取り組む方をサポートするための Web サイトを作成し令和3年4月に開設した。動画を掲載するなどコンテンツの見直しを行っている。
- 掲載内容
健康チェック、妊娠の基礎知識、プレコンセプションケアについて、
不妊・不育症の検査や治療について、治療を続けるうちに (里親・特別養子縁組)、
体験談、Q&A、県の助成事業、企業の取組、Webセミナー動画等

	閲覧数				閲覧上位 (サイト内)
	年間	月			
		平均	最大	最小	
令和4年度	61,383 回	5,115 回	13,793 回	1,752 回	1位: 体験談 2位: こんな症状に注意 3位: 妊活について
令和5年度	177,035 回	14,752 回	18,662 回	9,227 回	1位: 妊娠の基礎知識 2位: 助成制度 3位: 体験談
令和6年度	199,187 回	16,599 回	20,138 回	12,914 回	1位: 体験談 2位: 助成制度 3位: 妊娠について

(疾病・感染症対策課調べ)



Web サイト :

<https://ninkatsu.pref.nagano.lg.jp/>



5 性と健康の相談センター事業

- 平成 27 年度から「妊娠～子育て SOS 信州（電話相談）」として、妊娠・出産及び子育てに関する悩みを抱える者に対し、助産師による相談支援を開始した（長野県助産師会に委託）。平成 31 年 4 月より事業名を「妊娠～子育てほっとライン信州」に変更した。
- 令和 4 年度までの「女性健康支援センター事業」と「妊娠・出産包括支援事業」を組み替えて、令和 5 年度から「性と健康の相談センター事業」に変更し、実施した。

(1) 性と健康の相談支援事業「性と健康の助産師相談」

- 令和 6 年度は 131 件の相談があり、相談者の割合は、男性 35.1%（前年 38.6%）女性 57.2%（前年 58.3%）であった。年代別では 30 代（29.7%、前年 35.1%）、相談内容は女性からの妊娠・育児に関する相談（47.3%、前年 48.2%）が多くを占めている。

相談実績

(単位：件)

相談延数 (件)	年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代 以上	不明	合計
131	男	21	1	1	1	0	1	21	46
	女	0	5	38	9	1	1	21	75
	不明	0	0	0	0	0	0	10	10

(疾病・感染症対策課調べ)

相談内容別相談数

(単位：件)

相談延数 (件)	相談 内容	性	不妊 検査	健康 管理	妊活	妊娠 育児	更年期	その他	合計
131	男	41	1	0	1	0	0	3	46
	女	1	0	4	5	62	1	2	75
	不明	0	0	1	0	0	0	9	10

(疾病・感染症対策課調べ)

(2) 成育保健支援事業

- 各保健福祉事務所において実施。
- 各ライフステージに応じて生じる性の悩みに対して、相談及び知識の普及を図る。
- 令和 6 年度は個別相談において、延べ 197 件の相談があり、相談者の割合は、男性 72.6% 女性 27.4%であった。

相談実績

(単位：件)

	相談者 延 数	性別		相談方法	
		男性	女性	電話	面接
件数 (件)	197	143	54	188	9
割合 (%)	100.0	72.6	27.4	95.4	4.6

(疾病・感染症対策課調べ)

(3) 不妊・不育専門相談センター事業（再掲） 8 ページ 4 (5) を参照

6 先天性代謝異常等検査事業

- 昭和 52 年度から、治療法等が確立している先天性代謝異常等を早期発見し、早期治療を行うため、新生児の「先天性代謝異常等検査事業」が開始された。
- 令和 6 年度の検査延べ数は 11,690 件、診断確定件数は 9 件となっている。

先天性代謝異常等検査の検査方法の変遷

時 期	検査方法	対象疾患数
平成 25 年 9 月末まで	従来法	6 疾患
平成 25 年 10 月～	タンデムマス法等	19 疾患
平成 29 年 10 月～	タンデムマス法等	20 疾患
平成 31 年 4 月～	タンデムマス法等	24 疾患
令和 4 年 4 月～	タンデムマス法等	25 疾患

検査実績

(単位：件)

年度	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
検査方法・疾患数	H29年10月～20疾患		H31年4月～24疾患			R4年4月～25疾患		
検査件数	17,073 (初回検査16,158) 再検査件数915	16,199 (初回検査15,369) 再検査件数830	15,548 (初回検査14,796) 再検査件数752	14,812 (初回検査14,005) 再検査件数807	14,562 (初回検査13,710) 再検査件数847	13,485 (初回検査12,880) 再検査件数597	12,413 (初回検査11,850) 再検査件数577	11,690 (初回検査11,126) 再検査件数559
再検査率	5.66% 疾患による再検査件数464 2.87%	5.40% 疾患による再検査件数382 2.49%	5.08% 疾患による再検査件数305 2.06%	5.45% 疾患による再検査件数405 2.73%	5.82% 疾患による再検査件数490 3.36%	4.43% 疾患による再検査件数257 1.91%	4.65% 疾患による再検査件数249 2.01%	4.78% 疾患による再検査件数276 2.36%
精密検査件数 (診断確定件数)								
先天性代謝異常症	7 (5)	4 (0)	5 (2)	8(4)	9 (8)	18 (0)	25 (0)	14 (3)
疾患名	ガラクトース血症 (3) ・門脈下大静脈シャント ・門脈欠損 ・ガラクトース血症(型不明) VLCAD欠損症 脂肪酸血症 (1)	-	ガラクトース血症 (1) ・左門脈:左肝静脈シャント フェニルアラニン尿症 (1)	ガラクトース血症 (2) ・ガラクトース血症 I 型 (1) ・ガラクトース血症 III 型 (1) メチルマロン酸血症 (1) プロピオン酸血症 (1)	ガラクトース血症 (4) ・一過性高ガラクトース血症型 (1) ・非高血 (型) 中等症型 (1) MCAD欠損症 (1) フェニルアラニン尿症 (1) メチルマロン酸血症 (1) 脂肪酸血症 (1) その他 (脂肪酸血症型、栄養障害の疑い) (1)	-	ガラクトース血症 (12) 長チロシン血症 (1) メチルマロン酸血症 (1) 脂肪酸血症 (1) 全身性グルコース不足症 (1) CPPI (1) \$MCC/3-HMG/MCD (1) 全身性グルコース不足症 (1) メチルマロン酸血症 (1) 脂肪酸血症 (1) \$MCC/3-HMG/MCD (1) VLCAD (1)	ガラクトース血症 (5) メチルマロン酸血症/プロピオン酸血症 (2) グルコース不足症 (1) CPPI (1) \$MCC/3-HMG/MCD (1) 全身性グルコース不足症 (1) メチルマロン酸血症 (1) 脂肪酸血症 (1)
副腎過形成症	1 (1)	2 (1)	0	0	5(1)	7(1)	6(1)	2(0)
先天性甲状腺機能低下	18 (16)	20 (14)	17 (14)	22 (13)	28(24)	18(16)	31(17)	12(6)

(疾病・感染症対策課調べ)

7 新生児マススクリーニング検査実証事業

- 従来、早期発見早期治療により、身体障がいや発達の遅れ等を改善できる疾患について、先天性代謝異常等検査が実施されている。近年、原発性免疫不全症と脊髄性筋萎縮症など、従来の代謝異常検査では対象外でありながら、早期発見早期治療により身体障がいや発達の遅れ等重篤化を防げることから対応への必要性が求められている。

長野県立こども病院では、希望者に対し令和 4 年 10 月 1 日よりオプション新生児スクリーニング検査(有料)を開始した。

令和 5 年度から国の補正事業「新生児マススクリーニング検査に関する実証事業」が始まる。令和 6 年 10 月から国事業に参画し開始した。

新生児マススクリーニング検査に関する実証事業実施状況

年 度	R6
検査方法・疾患数	R6年10月～ 2疾患
検査件数	4,837 (初回検査 4,831)
再検査率	再検査件数 7 0.14%
	疾患による再検査件数 4 0.08%

精密検査件数（診断確定件数）

重症複合免疫不全	0 (0)
B細胞欠損症	1 (0)
脊髄性筋萎縮症	0 (0)

(疾病・感染症対策課調べ)

8 長野県難聴児支援センター事業

(1) 新生児聴覚検査事業

- 平成14年10月から、先天性難聴等を早期発見し、早期治療及び早期療育を行うため、「新生児聴覚検査事業」が開始された。
令和6年度は、難聴の確定診断者は18人であった。一次スクリーニング未実施者は3人とどまり、実施率はほぼ100%に達した。

新生児聴覚検査実績（報告があった医療機関のみ）

(単位：人)

年度	対象者	1次スクリーニング		2次スクリーニング	確定診断者
		実施	未実施		
平成14～25年度	184,280	174,716	9,564	630	119
平成26年度	15,758	15,404	354	58	21
平成27年度	15,885	15,538	347	60	9
平成28年度	15,603	15,366	237	159	13
平成29年度	16,005	15,811	194	94	18
平成30年度	14,826	14,643	183	69	19
令和元年度	14,421	14,340	81	82	4
令和2年度	13,592	13,518	74	85	17
令和3年度	13,432	13,378	54	114	17
令和4年度	12,631	12,578	53	118	21
令和5年度	11,620	11,605	15	88	24
令和6年度	10,869	10,866	3	112	18
合計	338,922	327,763	11,159	1,669	300

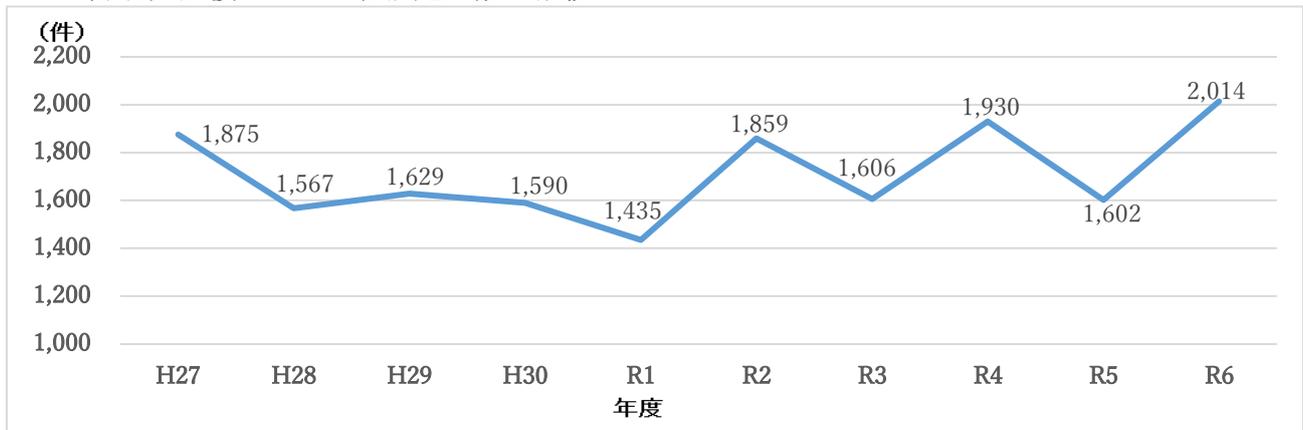
※長野県難聴児支援センターの再集計により対象者、1次スクリーニングの数値の訂正があったため、令和3年度以前の実績報告とは一致しない箇所がある。
(長野県難聴児支援センター調べ)

(2) 長野県難聴児支援センター事業

- 平成19年6月に「長野県難聴児支援センター」が開設され、難聴の早期発見及び早期療育につなげるための支援の拠点として、個別支援や関係機関との連携支援等を行っている。
- 令和6年度の相談延べ数は2,014件であり、年代別に見ると4～6歳(27%)、1～3歳(19%)、

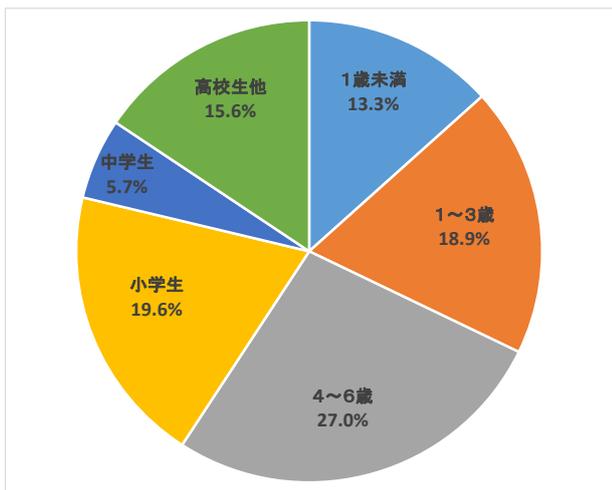
小学生時期（19%）の順に多い。相談内容は医療（44%）、療育（37%）、教育（17%）に関することが多く、全体の約98%を占めている。

難聴児支援センター相談延べ数の推移



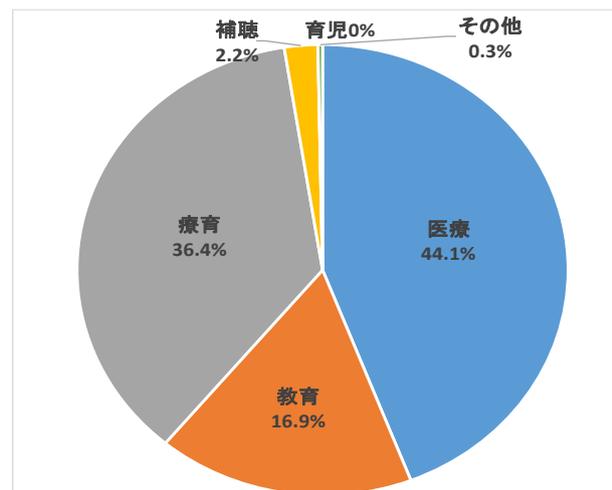
(長野県難聴児支援センター調べ)

相談者の年齢別内訳（令和6年度）



(長野県難聴児支援センター調べ)

相談内容内訳（令和6年度）



(長野県難聴児支援センター調べ)

9 小児慢性特定疾病医療費助成事業

(1) 小児慢性特定疾病医療費助成事業

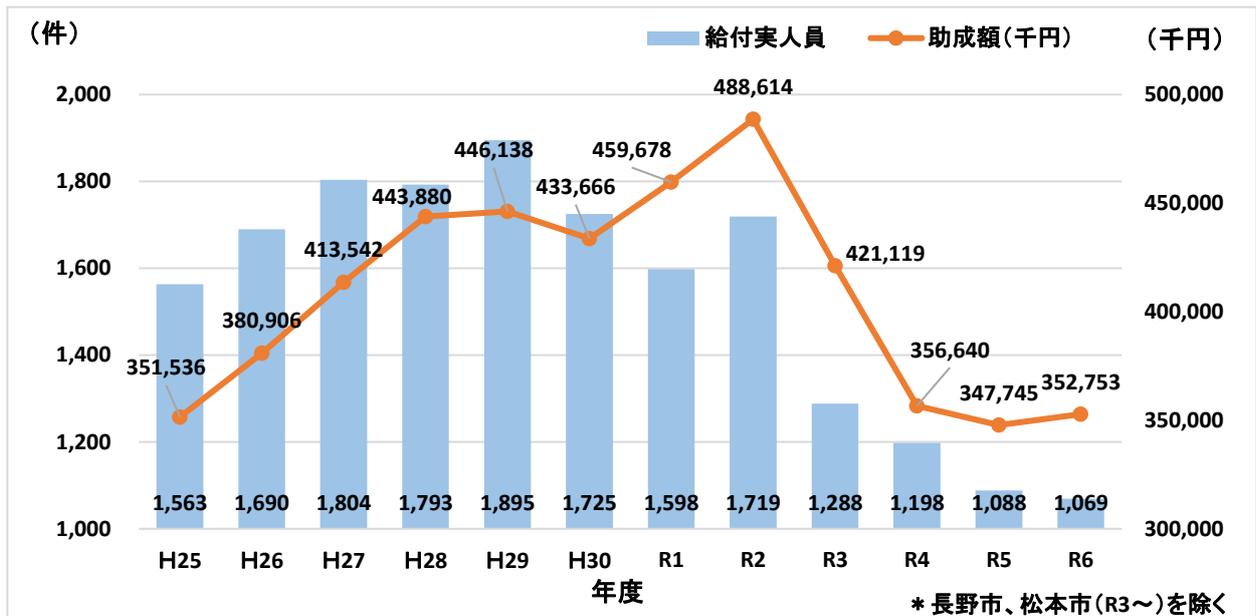
- 昭和50年4月から18歳未満の小児慢性特定疾病児童等を対象とした医療費の助成を行っている。対象疾病は段階的に拡大され、現在、16疾患群801疾病が対象となっている。
- 疾患群別内訳では、内分泌疾患及び慢性心疾患、神経・筋疾患が多く、受給者全体の約50%を占めている。

小児慢性特定疾病医療 対象疾病の変遷

時期	対象疾病数
昭和50年（1975年）4月	9疾患群
平成2年（1990年）1月	10疾患群

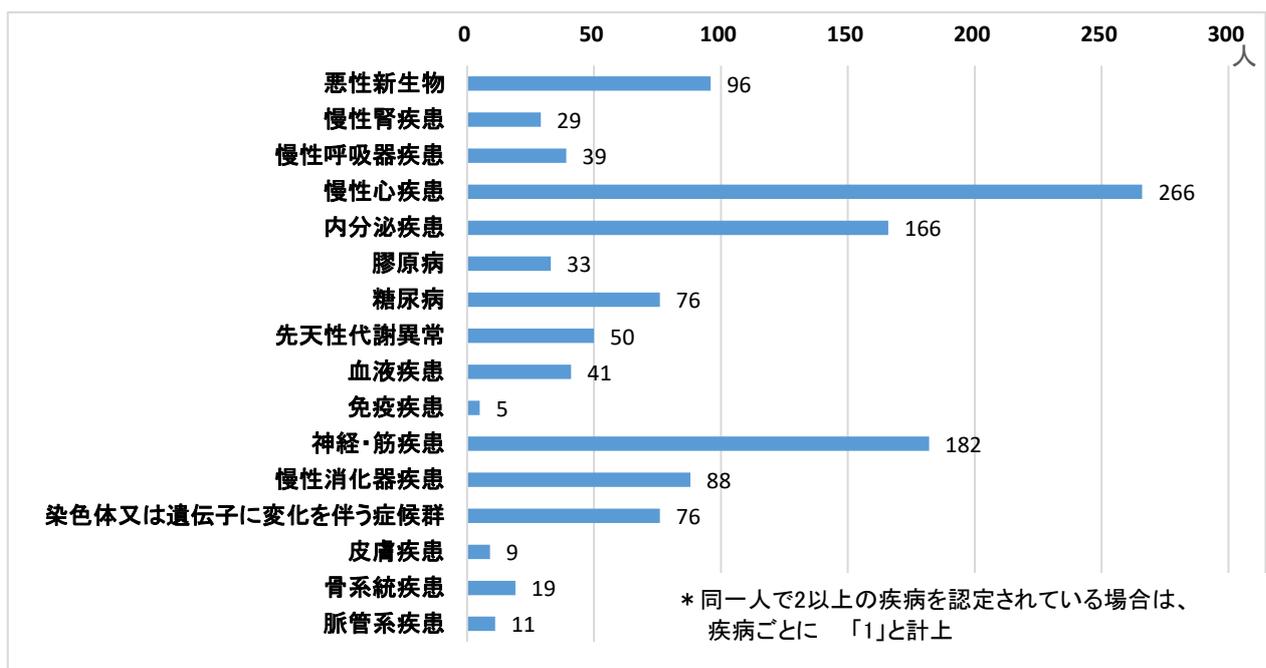
平成 17 年 (2005 年) 4 月	11 疾患群 514 疾病
平成 27 年 (2015 年) 1 月	14 疾患群 704 疾病
平成 29 年 (2017 年) 4 月	14 疾患群 722 疾病
平成 30 年 (2018 年) 4 月	16 疾患群 756 疾病
令和元年 (2019 年) 7 月	16 疾患群 762 疾病
令和 3 年 (2021 年) 11 月	16 疾患群 788 疾患

小児慢性特定疾病医療費助成実績の推移



(疾病・感染症対策課調べ)

小児慢性特定疾病医療受給者証所持者数 (疾患群別)



(疾病・感染症対策課調べ)